

## 住宅の外皮平均熱貫流率及び外皮平均日射熱取得量（冷房期・暖房期）計算書 （木造戸建て住宅）

### 1) 基本情報の入力

住宅の名称	●●邸 住宅 新築工事		
住宅の所在地	小樽市赤岩	(地域区分)	2 (Ib)
住宅の規模	地上	2 階	、地下 階

### 2) 計算結果

外皮平均熱貫流率	0.25 W/(m <sup>2</sup> K)	単位温度差あたりの外皮熱損失量(q)	102.6 W/K
冷房期の外皮平均日射熱取得率	0.2	単位日射強度あたりの冷房期の日射熱取得量(m <sub>c</sub> )	0.73
外皮等面積の合計	417.75 m <sup>2</sup>	単位日射強度あたりの暖房期の日射熱取得量(m <sub>H</sub> )	0.82

### 3) 省エネルギー基準外皮性能適合可否結果

	計算結果	基準値	判定		
外皮平均熱貫流率 {W/(m <sup>2</sup> K)}	0.25 W/(m <sup>2</sup> K)	0.46 W/(m <sup>2</sup> K)	適合	●	等級4
冷房期の外皮平均日射熱取得率	0.2	-		○	等級3
				○	等級2

注1: 本計算シートに入力している面積は、別途平面図や立面図等で計算過程を明示しています。

注2: 本計算シートに入力している部位の熱貫流率は、別途計算書等を添付しています。

注3: 本計算シートの計算方法は、(独)建築研究所が示す外皮性能の計算方法を遵守しています。

注4: 内訳計算シートAは、住宅の外壁の面する方位別のシートに入力してください。

注5: 各シートの 黄色 部分に入力するか、あるいはドロップボックスから選択してください。

注6: 各シートに入力する寸法は、メートル単位で入力して下さい。

注7: 本計算シートでは計算式の誤削除を防止するため、シートを保護していますがパスワードの設定はしていません。

よって各社の仕様に応じ内容を修正することは制限しませんが、計算過程を追えるよう修正することをお願いします。

※1 窓の付属部材に応じた日射熱取得係数を使う場合は、付属部材に応じた値を直接入力して下さい。

建物の容積

1階床面積	91.09 m <sup>2</sup>
2階床面積	74.53 m <sup>2</sup>
延べ床面積	165.62 m <sup>2</sup>
屋根+天井面積	95.78 m <sup>2</sup>
外壁面積	223.04 m <sup>2</sup>

部位	断熱仕様	平均熱貫流率(W/m <sup>2</sup> )	熱損失(W/K)
屋根	吹き込みRW t400	0.114	10.92
北側外壁面	HGW16kg 50mm+ 硬質ウレタンボードt80	0.206	21.48
南側外壁面	同上	0.206	25.54
東側外壁面	同上	0.206	16.47
西側外壁面	同上	0.206	13.86
基礎	押出法PSF3種 t100	-	14.3
各部の熱損失係数の合計			102.57

各部の熱損失割合

